

「奄美健康体験交流施設再生プロジェクト」サウンディング型市場調査結果

参加者	7事業者（島内6、島外1）
対話日時	令和5年8月22日
市場性の有無	・機能を見直すのであれば、市場性あり
PFI事業での参加意欲	<ul style="list-style-type: none"> ・島内事業者のみで考えると、公設+指定管理方式が妥当と考える。 ・管理運営面での参画は意欲有 ・現時点でPFIでの参画が可能かどうかの回答は難しい
参加事業者からの 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の立地のポテンシャルを考慮すると、ターゲットを近隣住民に設定した場合、収益性はあまり期待できないと考えられる。 ・海水を活用することに固執する必要はないと考える。 ・現状の地域の利用者だけでなく、観光客も呼び込めるような施設機能の導入を検討した方がよい。 ・ロケーションを生かした機能を拡充する。 ・ターゲットの見直しが必要。宿泊や飲食などの組み合わせにより大浜海浜公園全体でのマネジメントが重要。 ・PFI、公設民営、半官半民も検討し採算性も考慮すべき。 ・市と改修事業者・運営事業者の費用負担に係る割合においてもだがすべてを民間資金を活用して行うのは難しいと考えられる。 ・リスク分担において市の負担も検討すべき。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の継続した協議について <ul style="list-style-type: none"> 1) 修繕計画等 2) 国立公園内の制限について ・施設の機能についてのニーズ調査実施（継続）

今回の調査で、参加頂いた民間事業者様から貴重なご意見をお聞きする事ができました。

本市といたしましては、この調査結果を参考に、事業内容を十分に検討し、市民や事業を実施していただく民間事業者様にとってお互いに有意義な事業となるよう努めて参ります。